

宮崎県観光振興計画の概要

資料 1－1

観光推進課

計画概要

位置付け

- 県総合計画長期ビジョンを具現化するための観光に関する分野別計画
- 神話のふるさと宮崎観光おもてなし推進条例に基づく計画であり、本県の観光の振興のため、関係団体が一体となって取り組む指針となるもの

推進期間

令和 5 年度（2023年度）～令和 8 年度（2026年度）

観光の現状と課題

観光を取り巻く環境の変化

- 人口減少・少子高齢化の進行
- 新型コロナウイルス感染症による旅行需要の減少
- 旅行形態・観光ニーズの多様化 ○ デジタル化の進展
- 持続可能性（S D G s）に対する意識の高まり

本県観光の現状

- 観光入込客、観光消費額とも新型コロナウイルス感染症の影響で大きく減少
- 宿泊客が3割未満で日帰り客が7割以上であり、通過型観光が多くなっている
- 県外客のうち8割が九州内からであり、九州外からの観光客が少ない
- 外国人の延べ宿泊者数は九州内で2番目に少なく、インバウンド需要を十分に取り込めていない
- スポーツキャンプ・合宿も新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく減少

本県観光の課題

- 周遊・滞在型観光の推進 ○ 九州外からの観光誘客、リピート率の向上
- 外国人観光客の誘致推進 ○ 多様化する観光ニーズへの対応
- デジタル技術の活用 ○ 安心して旅行を楽しむことができる受入環境整備
- スポーツランドみやざきの取組強化

本県観光の目指す姿と数値目標

本県観光の目指す姿

地域住民や観光関連事業者等による持続可能な観光地域づくりが推進され、地域社会が活性化するみやざき

観光資源の掘り起こし・磨き上げと効果的な情報発信により本県の魅力が向上し、認知され、国内外から多くの観光客が訪れるみやざき

「スポーツランドみやざき」でスポーツの魅力を体感し、感動してもらうことで、心も体も再生し、訪れる人々に、明日への希望と活力を与えるみやざき

魅力実感！感動と元気あふれる「観光みやざき」
～Challenge みやざき、新しい景色へ～

本県観光の目指す姿と数値目標

<数値目標>

指標	現況値 (R3)	目標 (R8)
観光入込客数	1,013万人回	1,650万人回
延べ宿泊者数	315万人泊	460万人泊
うち外国人宿泊者数	1万人泊	36万人泊
観光消費額	1,051億円	1,950億円
県外からのスポーツキャンプ・合宿延べ参加者数	12.9万人	25万人
国外からのクルーズ船寄港回数	0回	50回
M I C E 延べ参加者数	1.2万人	24万人



基本方針

- みやざきの魅力を最大限に生かした観光の推進
- 観光サービスの高付加価値化と持続可能な観光への取組
- 戰略的なプロモーション
- デジタル技術の活用

取り組むプロジェクト

1 国内外から選ばれる観光地域づくり

- (1) 周遊・滞在型観光推進のための観光資源の磨き上げ
- (2) 新しい観光スタイルに対応した取組の推進
- (3) 地域の観光を牽引する人材の育成
- (4) D M O 等による魅力ある観光地域づくりの推進
- (5) 利便性と満足度向上のための基盤整備

2 みやざきの強みを生かした誘客の推進

- (1) 本県ならではのテーマ観光の推進
- (2) 世界ブランド等を生かした観光の推進
- (3) みやざきM I C E の推進
- (4) 教育旅行の誘致・定着推進
- (5) 観光関連事業者等との連携による取組の推進
- (6) 広域連携による取組の推進

3 外国人観光客の誘致の強化・推進

- (1) ニーズに対応した魅力の創出と情報発信
- (2) 東アジアを重点地域とした誘客・リピーターの拡大
- (3) 欧米豪や富裕層など新規市場の開拓
- (4) クルーズ船の誘致・推進

4 「スポーツランドみやざき」の推進

- (1) 国際水準のスポーツの聖地としてのブランド力向上
- (2) スポーツキャンプ・合宿及びスポーツイベントの全県化・通年化・多種目化の推進
- (3) スポーツツーリズムの推進

本県の観光振興施策の令和6年度取組実績及び令和7年度取組

資料1－2

取組項目		令和6年度の主な取組状況	令和7年度の主な取組
1 国内外から選ばれる観光地域づくり	(1) 周遊・滞在型観光の推進のための観光資源の磨き上げ	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村や観光関連事業者等が行う県内周遊促進のための旅行商品開発・情報発信の取組に対する補助を行った。 <市町村等5件、観光関連事業者2件> ○県内観光客の動向や現状を把握し、周遊・滞在型観光の推進を含め、観光施策に戦略的に活用するため統計調査を行った。 <観光入込客統計調査> 	<ul style="list-style-type: none"> ○令和6年度に引き続き、市町村や観光関連事業者等が行う県内周遊促進のための旅行商品開発・情報発信の取組に対する補助を行う。 ○県内観光客の動向や現状を把握し、周遊・滞在型観光の推進を含め、観光施策に戦略的に活用するため統計調査を行う。 <観光入込客統計調査>
	(2) 新しい観光スタイルに対応した取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村や観光関連事業者等が行う県内周遊促進のための旅行商品開発・情報発信の取組に対する補助を行った。（再掲） <市町村等5件、観光関連事業者2件> ○宿泊事業者が行うサービス向上（受入環境の充実）に取り組む経費の補助を行った。 <DX・サービス向上：46件> 	<ul style="list-style-type: none"> ○令和6年度に引き続き、市町村や観光関連事業者等が行う県内周遊促進のための旅行商品開発・情報発信の取組に対する補助を行う。（再掲） ○宿泊事業者が行うサービス向上（受入環境の充実）に取り組む経費の補助を行う。
	(3) 地域の観光を牽引する人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○宮崎ならではの魅力的な観光地域づくりを推進する人材を育成するため、県内観光関係者を対象とした人材育成塾「観光みやざき創生塾」を実施した。 <R6修了者 基礎コース：25人、実践コース：8人> ○県内観光ボランティアガイドの方等に対して、スキルアップのための研修を実施した。 <R6受講者 ①研修会（現地）：9団体69名 ②研修会：7団体44名> ○県内観光産業の人材確保のための緊急広告を行うとともに、宿泊事業者の採用活動に係る取組を支援した。 <採用実績：52人（正社員10人、パート・アルバイト42人）> 	<ul style="list-style-type: none"> ○宮崎ならではの魅力的な観光地域づくりを推進する人材を育成するため、県内観光関係者を対象とした人材育成塾「観光みやざき創生塾」を実施する。 <R7募集人数 基礎コース：30人、実践コース：15人> ○県内観光ボランティアガイドの方等に対して、スキルアップのための研修を実施する。 ○宿泊事業者を対象とした県内就職面談会の開催や外国人材の宿泊事業者へのインセンティブ等の受入推進、人材確保・人手不足等の経営課題解決に向けたセミナー等を実施する。
	(4) DMO等による魅力ある観光地域づくりの推進	○地域連携DMOである（公財）宮崎県観光協会に外部専門人材を配置し、市町村や観光関連団体等と連携しながら行う誘客のための観光マーケティングや情報発信を支援した。	○令和6年度に引き続き、地域連携DMOである（公財）宮崎県観光協会が市町村や観光関連団体等と連携しながら行う誘客のための観光マーケティングや情報発信を支援する。

	取組項目	令和6年度の主な取組状況	令和7年度の主な取組
1 国 内 外 か ら 選 ば れ る 観 光 地 域 づ く り	(5) 利便性と満足度向上のための基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> ○令和9年開催の国スポ・障スポ大会やスポーツキャンプ・合宿及び観光客の更なる受入等を見据え、宿泊事業者が行う生産性やサービス向上（受入環境の充実）や経営力強化に取り組む経費の補助を行った。（再掲） <DX・サービス向上：46件> ○宮崎県観光協会内に設置している「みやざきユニバーサルツーリズムセンター」において、相談対応、宿泊施設等のバリアフリー情報のHP掲載、県内観光事業者等を対象にした研修会を実施した。 <相談件数：49件、HP新規掲載施設：109施設> 本県独自の取組として、「ベビーカー・車いすレンタル事業」において、宮崎空港ビルで貸し出した。<利用件数：215件> ○市町村や宿泊・観光事業者が行う宿泊施設や観光施設のユニバーサルデザイン化のための施設改修や機器導入に係る取組への補助を行った。 <施設改修：2件、機器導入：4件> ○県の観光拠点施設である「国民宿舎えびの高原荘」、「国民宿舎高千穂荘」等の受入環境の整備を行い、利用客の増加を図った。 <えびの高原荘宿泊者数：R5 10,798人→R6 5,430人> <高千穂荘宿泊者数：R5 25,284人→R6 25,383人> ○観光客の利便性向上と県内周遊の促進を図るために、県内交通拠点、観光施設等に設置している「観光案内板」の更新を行った。 <更新数：20基> ○「MIYAZAKI FREE Wi-Fi」の市町村等との共同利用を促進しWi-Fi環境を提供した。<アクセスポイント設置数（R7.3時点） 12市町村 195台> ○多言語コールセンターを運営し訪日外国人旅行者と受入観光施設等との言語サポートを実施した。 <利用実績 983回> 【対応言語数】22言語 【施設登録状況】232施設（R7.3時点） 	<ul style="list-style-type: none"> ○令和6年度に引き続き、宿泊事業者が行う生産性やサービス向上（受入環境の充実）や経営力強化に取り組む経費の補助を行う。 ○令和6年度に引き続き、「みやざきユニバーサルツーリズムセンター」において、相談対応、宿泊施設等のバリアフリー情報のHP掲載、県内観光事業者等を対象にした研修会を実施する。 また、「ベビーカー・車いすレンタル事業」についても、引き続き貸し出しを実施する。 ○令和6年度に引き続き、宿泊施設や観光施設のユニバーサルデザイン化のための施設改修や機器導入に係る取組への補助を行う。 ○引き続き、「国民宿舎えびの高原荘」、「国民宿舎高千穂荘」の受入環境の整備を行うとともに、指定管理者等と連携し、県内周遊への取組を推進する。 ○観光客の利便性向上と県内周遊の促進を図るために、県内交通拠点、観光施設等に設置している「観光案内板」の更新を行う。 ○「MIYAZAKI FREE Wi-Fi」の市町村等との共同利用を促進しWi-Fi環境を提供する。 ○多言語コールセンターを運営し訪日外国人旅行者と受入観光施設等との言語サポートを実施する。

取組項目		令和6年度の主な取組状況	令和7年度の主な取組
2 み や ざ き の 強 み を 生 か し た 誘 客 の 推 進	(1) 本県ならではの テーマ観光の推進	<p>○神話を生かした誘客事業（キキタビ）の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内22カ所の神社によるキキタビ記念御朱印授与 ・県内22カ所の神社を巡るデジタルスタンプラリー実施 <参加者数：1,021名> ・県内30カ所の神社や神話ゆかりの地を対象とした音声ARによる観光ガイド作成<延べ再生数：1,543回> <p>○自然、森林等を生かした誘客事業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「癒やし」をテーマとした「デトックス・トリップ宮崎」をリブランドし、パンフレットやポスター等の広報ツールを刷新した。 ・ダムや橋梁等のインフラ施設等を活用した周遊企画（宮崎だいすきポケモン「ナッシー」とコラボ企画）を実施した。<参加者：10,222人> <p>○食やスポーツを生かした誘客対策の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の飲食店や観光地、スポーツ合宿地等を周遊する「何でも極上！NANGOKUスタンプラリー」を実施した。<参加者数7,226名> ・焼酎を活用した観光誘客プロモーション（パンフ作成、オリジナルボトルバックプレゼントキャンペーン）を実施した。 	<p>○神話を生かした誘客事業（キキタビ）の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神社や神話にゆかりのある場所を対象とし、AR技術を活用したガイドシステム（神社等の解説が流れる音声ガイド等）を構築予定。 ・神社や神話にゆかりのある場所を巡る周遊企画を実施予定。 ・キキタビパンフレットに新たに祭りや神楽、お土産の情報を追加し、より親しみやすい内容となるよう、改訂予定。 <p>○自然、森林等を生かした誘客事業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県観光および「デトックス・トリップ宮崎」の認知度向上に繋がるプロモーションや「デトックス・トリップ宮崎」の趣旨に沿った旅行商品や宿泊プランの造成支援を実施予定。 ・宮崎だいすきポケモン「ナッシー」とコラボしたデジタルスタンプラリーを実施予定。 <p>○食やスポーツを生かした誘客対策の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣県をはじめとする九州管内をメインターゲットに、県内観光地や飲食店等への周遊促進キャンペーンを実施する。 ・スポーツキャンプシーズンは、キャンプ地から県内観光地や飲食店等への周遊促進を実施する。

取組項目	令和6年度の主な取組状況	令和7年度の主な取組
2 み や ざ き の 強 み を 生 か し た 誘 客 の 推 進	<p>○観光情報の発信強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県公式観光サイト「みやざき観光ナビ」のアクセス数を増やすために、観光スポットや特集記事の追加、宮崎市とのデータ連携を実施するなどサイトの内容充実を図った。<R6閲覧数：約573万回> ・国内向けSNS（Instagram、Facebook）による効果的な情報発信のため、投稿の一部を外部委託し、よりクオリティの高い写真及び記事を発信した。<フォロワー数：Instagram 約2.7万人、Facebook 約1,600人> ・「ひなたフェス2024」の開催に合わせ、みやざき大使である日向坂46とタイアップしたポスター・のぼりを制作し、各市町村に設置することで、ファンの県内周遊につなげた。 また、日向坂46を起用したテレビ番組やSNS等を活用し、本県の「観光地」や「食」のPRを行い、情報発信を強化した。 <p>○本県の情報発信の強化を図るため、メタバース空間「バーチャルみやざき」を作成し、観光PRやイベントを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メタバース上に本県の観光地（宮崎県庁、高千穂峡、鵜戸神宮）を構築 ・みやざき大使である日向坂46のメンバーによる生配信イベントの開催 	<p>○観光情報の発信強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県公式観光サイト「みやざき観光ナビ」の掲載情報を充実させるために、観光スポットやイベント情報等を追加するほか、AIチャットボットを導入し、観光相談体制の強化を図ることで国内外の観光客の満足度向上に繋げる。 ・「みやざき観光ナビ」に掲載されている観光イベント情報を、Instagramのストーリーズを活用し情報発信するなど、SNSとの連携を強化している。 ・若い世代に浸透している「推し活」をフックとした周遊企画や動画配信等のプロモーションを展開することにより、本県の認知度向上と観光誘客増を図る。
	○県内外への認知度向上のため、 農業遺産フェアやパネル展等のPRイベント を実施した。<14回>	○県内外への認知度向上のため、 農業遺産フェアやパネル展等のPRイベント を実施予定。
	○開催支援補助制度等を活用した誘致活動を行った。 <開催支援実績 50件>	○開催支援補助制度等を活用した誘致活動を行う。

取組項目		令和6年度の主な取組状況	令和7年度の主な取組
2 み や ざ き の 強 み を 生 か し た 誘 客 の 推 進	(4) 教育旅行の誘致・定着促進	<p>○県内で<u>教育旅行を実施する際に貸切バスの費用及び企画開発費の一部を助成した。</u><R6 貸切バス：延べ96台 企画商品開発：2,895人（18校）></p> <p>○<u>九州7県合同で、東京・大阪・名古屋・広島にて旅行会社や学校関係者への教育旅行素材説明会を実施した。</u> また、JNTO主催訪日教育旅行促進事業において、<u>台北・高雄会場で学校関係者の個別相談会へ参加した。</u></p> <p>○宮崎ならではの教育旅行プログラムの魅力を国内外の学校や旅行会社の方に具体的に理解していただくため、昨年度に引き続き、PR動画を作成した。<計9種類></p>	<p>○県内で<u>教育旅行を実施する際に貸切バスの費用及び企画開発費の一部を助成する。</u></p> <p>○<u>九州7県合同で、東京・大阪・名古屋・岡山にて旅行会社や学校関係者への教育旅行素材説明会を実施する。</u> また、JNTO主催訪日教育旅行促進事業において、<u>台北・高雄会場で学校関係者の個別相談会へ参加する。</u></p> <p>○熊本、鹿児島等の隣県と連携した南九州3県周遊プランや本県の強みである神話やスポーツ等と親和性の高い学校への提案などセールス活動を強化する。</p>
	(5) 観光関連事業者との連携による取組の推進	<p>○宮崎だいすきポケモンの「ナッシー」を活用し、交通各社とタイアップした誘客施策や、県内の道の駅やインフラ施設を巡るデジタルスタンプラリーなどを実施した。 フォロワー数が多いポケモンの公式SNSを活用してこれらの取組を発信し、投稿への閲覧数が1,000万回を超えるなど、本県の認知度向上を図った。</p> <p>○2025年の大阪・関西万博を見据え、交通機関等と連携したプロモーションや関連イベントでの観光PRを行った。</p> <p>○観光関連事業者と連携し、令和7年3月～6月催行分の旅行商品の広告経費補助を行った。<11商品></p>	<p>○宮崎だいすきポケモンの「ナッシー」を活用し、交通各社とタイアップした誘客施策や、県内の道の駅やインフラ施設を巡るデジタルスタンプラリーなどを実施し、観光誘客増・県内周遊につなげる。</p> <p>○交通機関等と連携したプロモーションや、観光関連事業者等と連携した旅行商品の造成を実施する。</p> <p>○<u>2025年大阪・関西万博において、九州7県合同で催事出展し、本県ブースでは本県の多彩な魅力を発信するとともに、観光誘客増を図る。</u></p>

取組項目		令和6年度の主な取組状況	令和7年度の主な取組
2 み や ざ き の 強 み を 生 か し た 誘 客 の 推 進	(6) 広域連携による取組の推進	<p>○NEXCO西日本と連携した高速道路の周遊割引や、SA・PA等のスタンプラリー企画を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お国じまんデジタルラリー<参加者：8,862人> ・ぎゅぎゅっと九州満喫ドライブパス<申込数：163,759件> <p>○「東九州広域観光推進協議会」により大分県と連携して、壇ノ浦PA（山口県）での観光PRブース出展や、福岡県及び山口県のタウン誌を活用したプロモーションを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壇ノ浦PAでの観光PRブース出展<アンケート回答者142名> ・週刊サンデー下関、まいにちWEBトライアングル、リビング北九州での大分、宮崎のグルメ及び春の観光スポット情報掲載 <p>○「南九州広域ルート協議会」の取組により、国内向けには南九州3県における教育旅行プログラムの魅力を伝えるための旅行会社を対象とした素材説明会および招請ツアーアクションを実施し、海外向けにはセールスプロモーションを実施した。</p> <p>○隣県空港等を利用する外国人個人観光客の誘客を図るため、九州MaaSのアプリを活用した二次交通デジタルチケットの造成・販売プロモーションを実施。</p>	<p>○NEXCO西日本と連携した高速道路の周遊割引や、SA・PA等のスタンプラリー企画を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お国じまんデジタルラリー(開催期間：2025年6月下旬～2025年11月30日) ・ぎゅぎゅっと九州満喫ドライブパス <p>○「東九州広域観光推進協議会」により両県への誘客促進を目的として、四国と大分を結ぶカーフェリーを利用して、普通乗用車で県北部を観光する観光客に対し、自動車搬送運賃や宿泊費の一部を助成する事業を実施予定。</p> <p>○「南九州広域ルート協議会」により南九州3県で連携して域外からの観光誘客や海外へのセールスプロモーションを実施する。</p> <p>○隣県空港等を利用する外国人個人観光客の誘客を図るため、鹿児島空港と本県を結ぶ高速バスの運行や、九州MaaSのアプリを活用した二次交通デジタルチケットの造成・販売プロモーションを実施する。</p>

取組項目		令和6年度の主な取組状況	令和7年度の主な取組
3 外 国 人 觀 光 客 の 誘 致 の 強 化 ・ 推 進	(1) ニーズに対応した魅力の創出と情報発信	<p>○多言語ホームページを運営し、海外への情報発信を行った。 県公式観光サイト「みやざき観光ナビ」とデータベースを共有化した多言語サイト（英語、韓国語、中国語（繁体字、簡体字））を新たに制作。</p> <p>○海外向けSNSによる情報発信を行った。 ・ 5 言語 英語・韓国語・中国語（繁体字）・中国語（簡体字）・タイ語 ・ 9 媒体（Facebook、Instagram、Wechat、Weibo、NAVER blog） <総フォロワー数 180,779人（R7.3月末時点）></p> <p>○海外OTA等と連携したデジタルプロモーションを実施した。 本県特集ページの公開、インフルエンサーによる情報発信、誘客プロモーション 【対象】韓国、台湾、香港、中国、ASEAN（シンガポール・タイ）</p>	<p>○多言語ホームページを運営し、海外への情報発信を行う。</p> <p>○海外向けSNSによる情報発信を行う。 ・ 5 言語 英語・韓国語・中国語（繁体字）・中国語（簡体字）・タイ語 ・ 10 媒体（Facebook、Instagram、Wechat、Weibo、NAVER blog、RED） <u>中国向けREDを新規開設</u></p> <p>○海外OTA等と連携したデジタルプロモーションを実施する。 本県特集ページの公開、インフルエンサーによる情報発信、誘客プロモーション 【対象】韓国、台湾、香港、中国、ASEAN</p>
	(2) 東アジアを中心とした誘客・リピーターの拡大	<p>○海外事務所等を活用した観光情報の収集・発信や現地旅行会社等（韓国、台湾、香港、中国等）へのセールスを実施した。</p> <p>○本県発着、隣県等発着の国際定期便・チャーター便を活用した旅行商品造成を支援した。</p> <p>○旅行博への出展や旅行会社・インフルエンサー等の招へいにより、本県の認知度向上を図った。</p> <p>○隣県空港等を利用する個人観光客の誘客を図るため、九州MaaSのアプリを活用した二次交通デジタルチケットの造成・販売プロモーションを実施した。（再掲）。</p>	<p>○海外事務所等を活用した観光情報の収集・発信や現地旅行会社等（韓国、台湾、香港、中国等）へのセールスを実施する。</p> <p>○本県発着、隣県等発着の国際定期便・チャーター便を活用した旅行商品造成を支援する。</p> <p>○旅行博への出展や旅行会社・インフルエンサー等の招へいにより、本県の認知度向上を図る。</p> <p>○隣県空港等を利用する外国人個人観光客の誘客を図るため、<u>鹿児島空港と本県を結ぶ高速バスの運行</u>や、九州MaaSのアプリを活用した二次交通デジタルチケットの造成・販売プロモーションを実施する。（再掲）</p>

取組項目		令和6年度の主な取組状況	令和7年度の主な取組
3 外 国 人 観 光 客 の 誘 致 の 強 化 ・ 推 進	(3) 欧米豪や富裕層など 新規市場の開拓	<ul style="list-style-type: none"> ○東京都や九州各県、九州観光推進機構と連携した欧米豪向け誘客プロモーションを実施した。 ○酒蔵ツーリズム（焼酎）や本県の自然・アクティビティ等を活用したアドベンチャーツーリズムなど、本県ならではのテーマ型観光商品の造成・販売促進を行った。 ○設置したワンストップ窓口について、旅行商品造成の実績獲得に向けWeb広告等を活用したPRを実施するとともに、引き続き、県内のゴルフ場等の受入施設に対し、インバウンド受入に関する研修会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○東京都や九州各県、九州観光推進機構と連携した欧米豪向け誘客プロモーションを実施する。 ○本県の自然・アクティビティ等を活用したアドベンチャーツーリズムなど、本県ならではのテーマ型観光商品の造成・販売促進を行う。
	(4) クルーズ船の誘致・推進	<ul style="list-style-type: none"> ○クルーズ専門誌等への情報掲載やキーマン招へい、現地船会社等へのセールス活動を行うとともに、クルーズ商談会・見本市（香港）への参加を通して寄港地としての魅力をPRした。 ○地元市町村受入協議会等による関係機関との連携強化や、寄港時のおもてなし活動による受入体制の構築を図った。 ○油津港ファーストポート化の取組 　昨年3月に初のファーストポートでの海外クルーズ船の受入れ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○クルーズ専門誌等への情報掲載やキーマン招へい、現地船会社等へのセールス活動を行うとともに、クルーズ商談会・見本市（香港）への参加を通して寄港地としての魅力をPRする。 ○地元市町村受入協議会等による関係機関との連携強化や、寄港時のおもてなし活動による受入体制を構築する。 ○油津港ファーストポート化の取組を継続する。

取組項目	令和6年度の主な取組状況	令和7年度の主な取組
<p>4 ース ポ リ ツ ラ ン ド み や ざ き 」 の 推 進</p> <p>(1) 国際水準のスポーツの聖地としてのブランド力の向上</p>	<p>○「スポーツランドみやざき」の核となる屋外型トレーニングセンターにおいて、国内外の代表チームやプロチームのキャンプ・合宿を受け入れた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ利用者27,363人 <県内14,164人、県外13,084人、海外115人> ・プロチームキャンプ等合宿 10件 <p><日本代表（ラグビー1件、デフ陸上競技1件、パラトライアスロン1件、陸上長距離1件）、ラグビーリーグワン4件、Jリーグ2件></p> <p>○屋外型トレーニングセンターへの観客席、東屋の設置および砂利敷き駐車場の改修を検討し、観客席および駐車場については設計までが完了した。</p> <p>○国内外代表合宿等の受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外代表合宿延べ9件（ラグビー日本代表、侍ジャパン、陸上競技長距離日本代表候補など） ・国外代表視察（ドイツ陸上競技） <p>○プロチームキャンプの受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロ野球 8球団 ・ラグビーリーグワン 7チーム ・Jリーグ 16チーム 	<p>○ひなた宮崎県総合運動公園の改修等を令和8年度までに実施し、施設の高質化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テニスコート改修（令和8年3月） ・ひむかスタジアムの両翼拡張など、公園内施設の改修・修繕（令和9年3月） <p>○屋外型トレーニングセンターへの観客席、東屋の設置および砂利敷き駐車場の改修工事を実施し、来場者の利便性の向上を図る。</p> <p>○東京2025世界陸上の開催に合わせ、国内外代表合宿（イギリス陸連、ドイツ陸連）の受入を行う。</p>

取組項目		令和6年度の主な取組状況	令和7年度の主な取組
4 「スポート・ツーリズム」の推進	(1) 国際水準のスポーツの聖地としてのブランド力の向上	<p>○ Jリーグキャンプフェスティバル（1/18、1/25、1/26、2/15）を実施した。 <延べ4,265人の参加></p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外型トレーニングセンター（1/26、2/15） ・ひなた宮崎県総合運動公園陸上競技場（1/25） ・高城運動公園（1/18） <p>※ Jリーグキャンプ時期合わせ仮設観客席（650席）を屋外型トレーニングセンターに設置</p> <p>○プロチーム関係者等向け誘致セミナーを実施した。（10/9東京、10/10大阪）</p> <p>○ラグビー、屋内系競技、水泳、テニスの4つの競技別誘致部会を設置し、国スポーツ・障スポ新施設への、新たな大規模大会・キャンプの誘致に向けた活動を実施した。</p>	<p>○昨年度設置したラグビー、屋内系競技、水泳、テニスの4つの競技別誘致部会に加え、<u>大規模改修工事が行われている県総合運動公園内「自転車競技場」の利活用を図るため、新たに「自転車競技部会」を立ち上げた。</u></p> <p><u>《誘致実績》</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/3 リーグワン公式戦の開催（ラグビー部会） ・4/14～5/20 競泳韓国代表チームの合宿（水泳部会） ・6/9～6/13 SAGA久光スプリングス合宿（屋内系部会） ・R8.12月 デビスカップ日本代表（テニス部会）

取組項目	令和6年度の主な取組状況	令和7年度の主な取組
<p>4 「ス ポ ー ツ ラ (2) ンド みや ざき 」の 推進</p> <p>スポーツキャンプ・合宿及びスポーツイベントの全県化・通年化・多種目化的推進</p>	<p>○市町村スポーツ施設の改修や資機材の整備、キャンプ・合宿に供する宿泊施設の整備・改修を支援した。 (資機材整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 都城市（都城運動公園野球場整備） 2 延岡市（西階運動公園 備品整備） 3 日南市（南郷中央公園 投球練習場人工芝化整備） 4 小林市（小林市陸上競技場 投てき用ネット整備） 5 日向市（お倉ヶ浜総合公園 運動広場整備） 6 高鍋町（小丸河畔運動公園 ピッチングマシン整備） 7 串間市（串間市総合運動公園 屋内投球場外壁等改修） <p>(合宿所等整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 都城市（グリーンホテルほか2施設） 2 延岡市（愛宕旅館ほか2施設） 3 西米良村（村営宿泊施設整備） <p>○国スポ・障スポで活用されるスポーツ施設等が継続的にキャンプ・合宿や大会に活用されるための整備・改修やこれらを実施するための調査費用を支援した。 (国スポ・障スポ施設改修等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 都城市（早水公園体育文化センター空調・音響改修及び都城運動公園 ソフトテニス備品購入） 2 木城町（川原自然公園ボルダリング場改修） 3 串間市（自転車ロードレース競技サイクルコース調査） 	<p>○引き続き、市町村が実施する合宿所の整備や民間宿泊業者が行う客室改修などの施設等整備に対する支援を行う。</p> <p>また、国スポ・障スポで活用されるスポーツ施設等が継続的にキャンプ・合宿や大会に活用されるための整備・改修やこれらを実施するための調査費用にも支援を行う。</p>

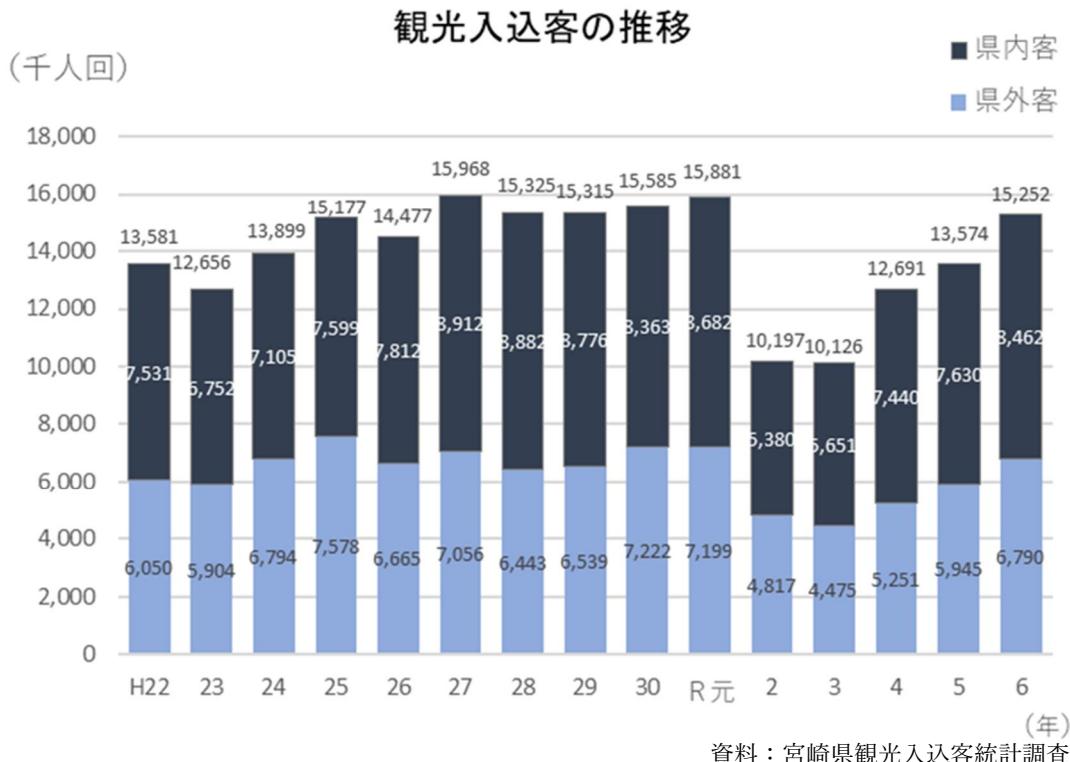
取組項目	令和6年度の主な取組状況	令和7年度の主な取組
<p style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">4 「スポーツ・ツーリズムの推進」</p> <p>(3) スポーツツーリズムの推進</p>	<p>○海外旅行事業者向けに設置したワンストップ窓口について、旅行商品造成の実績獲得に向けWeb広告等を活用したPRを実施し、インドネシアから約90名の受入れを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内のゴルフ場向けに、インバウンド受入に関する研修会を実施 ・北海道から本県へのゴルフ旅行商品を造成<延べ244人泊> <p>○カーフェリーを活用したサイクリングツアー（参加者35人）やサイクルイベント・大会の支援（7件）を行った。</p> <p>○インフルエンサーを招聘し、本県の恵まれたサーフィン環境をSNSで周知した。各種SNS（YouTube,Instagram）において、約20万回の閲覧数となった。</p> <p>○県サーフィン連盟発行の情報誌「サーフタウンページ」の多言語化・電子化を行い、インバウンド誘致に向けサーフィンのサーフスポットやマナーの周知を行った。</p> <p>○登山やキャンプ等のアウトドア環境を掲載したガイドブックを増刷し、本県のアウトドア環境情報発信のため、インフルエンサーを招聘し、PRを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBメディアのタイアップ記事<20,620PV> ・インスタグラマータイアップ記事<256,446閲覧> <p>○武道ツーリズム（イベントや体験等）の補助事業制度を活用し、シンガポールから5名が宮崎合宿等を行った。</p>	<p>○引き続き、ワンストップ窓口について、旅行商品造成の実績獲得に向けWeb広告等を活用したPRを実施予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内のゴルフ場ほか宿泊施設に対しても、インバウンド受入に関する研修会を実施予定 ・旅行商品造成に確実に繋げるため、ターゲットとする国の海外旅行事業者へのセールス活動を実施予定 <p>○カーフェリーを活用したサイクリングツアーやサイクルイベント・大会の支援を実施する。</p> <p>○ツール・ド・九州に、本県は大分県と共同開催という形で初参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日の集客のため、メディアや県内主要イベント、県及び市の広報媒体を活用しPR予定。 <p>○インバウンドのサーファーに対し、サーフボードのレンタル等への助成を行うことで誘客促進を図る。</p> <p>○多言語化を行った県サーフィン連盟発行の情報誌「サーフタウンページ」の増刷を行う予定。</p> <p>○本県のキャンプやグランピング施設等の情報発信のため、インフルエンサーやWEBメディア等を活用し、PRを強化する。</p> <p>○武道イベントへの支援やキーパーソン招聘等により、武道ツーリズムを推進する。</p>

宮崎県観光振興計画における数値目標の進捗状況について

資料2-1

1 観光入込客数

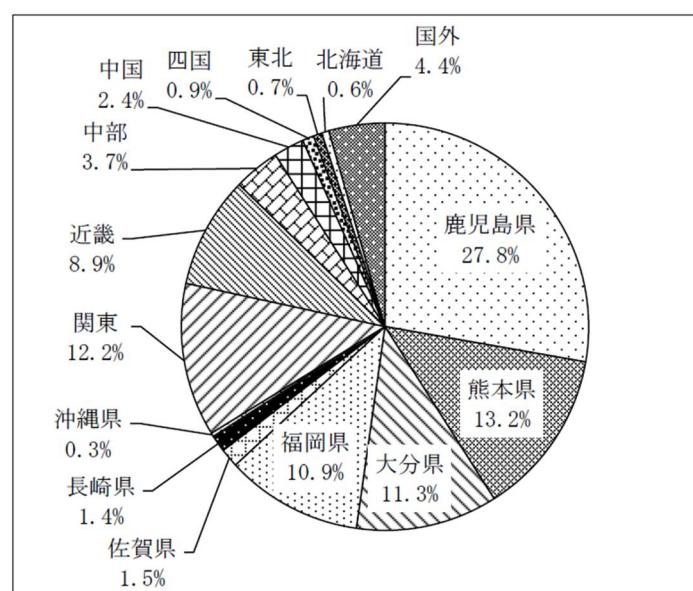
- 観光入込客数はコロナ禍以前は、1,500万人回以上で推移していた。令和6年は1,525万人回と、コロナ禍前と同程度に回復している。



- 県外客のうち3分の2が九州内からの観光客である。

本県観光客の居住地別内訳

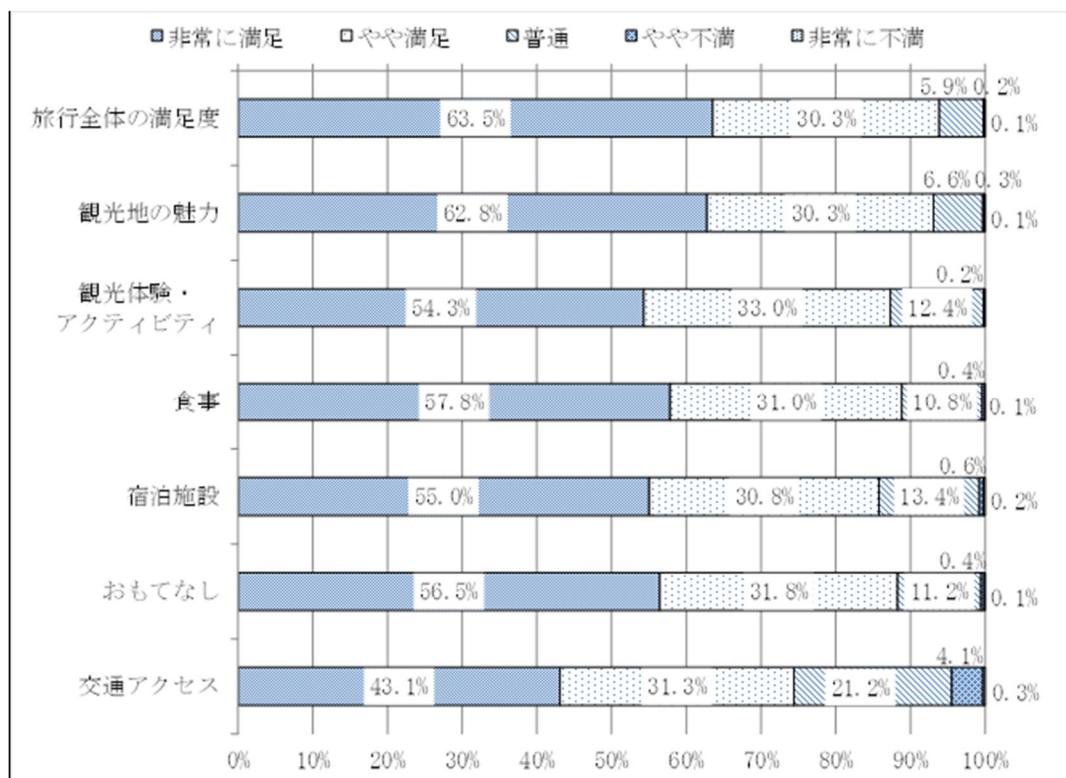
	回答数	割合 (%)
鹿児島県	575	27.8
熊本県	274	13.2
大分県	233	11.3
福岡県	225	10.9
佐賀県	31	1.5
長崎県	28	1.4
沖縄県	6	0.3
関東	252	12.2
近畿	184	8.9
中部	76	3.7
中国	50	2.4
四国	19	0.9
東北	14	0.7
北海道	12	0.6
国外	92	4.4
合計	2,071	100.0



資料：宮崎県観光入込客統計調査

- 県外客の旅行の満足度は全体的に高いが、交通アクセスについては他の項目よりやや低くなっている。

本県観光客の満足度



資料：宮崎県観光入込客統計調査

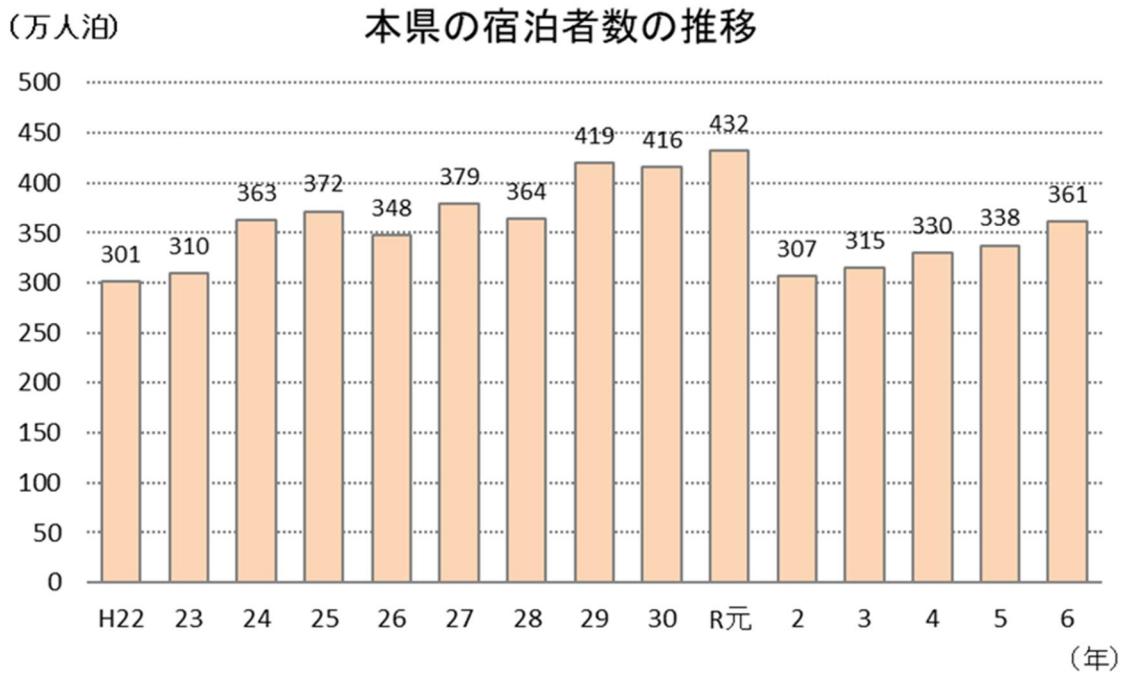
- 県外客が本県に入り込む際の主な利用交通機関は、自家用車が多いが、令和3年から令和5年にかけては飛行機や貸切・観光バスの利用が少し回復している。

本県への交通機関別入込状況

	自家用車	レンタカー	飛行機	バス 貸切・ 観光	鉄道	市内 バス	高速 バス	フェリ ー	タクシ ー	その 他	合 計
R5	66.3%	12.5%	8.0%	6.1%	1.2%	0.8%	0.7%	0.6%	0.5%	3.2%	100.0%
R4	74.7%	11.0%	5.2%	2.3%	1.3%	0.5%	0.9%	0.9%	0.6%	2.7%	100.0%
R3	81.7%	11.6%	0.8%	0.7%	0.7%	0.4%	0.0%	0.1%	0.3%	3.8%	100.0%

2 延べ宿泊者数

- 宿泊者数は、コロナ禍以前は400万人泊以上で推移していたところ、令和6年は361万人泊と、83.5%にとどまっており、全国と比較して回復に遅れがみられる。



資料:観光庁「宿泊旅行統計調査」

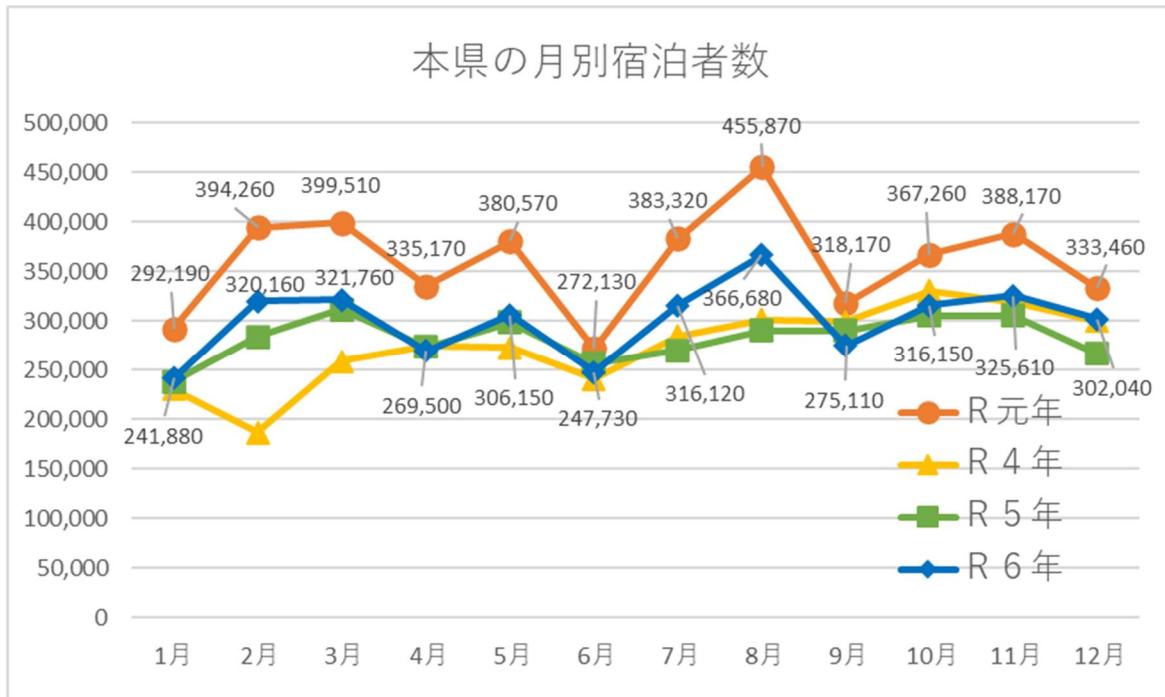
都道府県別延べ宿泊者数（令和6年）

施設所在地	延べ宿泊者数	2019年比	前年比
全国	659,064,530	+10.6%	+6.7%
北海道	44,628,500	+20.7%	+12.6%
青森県	4,512,550	-2.0%	+2.7%
岩手県	5,877,210	-6.4%	+0.4%
宮城県	10,265,630	-6.1%	+1.9%
秋田県	3,149,560	-13.8%	+5.0%
山形県	4,877,700	-12.5%	+6.8%
福島県	9,540,070	-24.6%	-1.5%
茨城県	7,270,000	+15.4%	-3.2%
栃木県	11,677,370	+22.1%	-4.7%
群馬県	9,751,210	+12.8%	-4.9%
埼玉県	5,575,920	+2.6%	+6.4%
千葉県	28,286,610	-3.2%	+1.8%
東京都	110,347,320	+39.7%	+11.0%
神奈川県	26,097,210	+9.3%	-7.7%
新潟県	10,524,240	-3.7%	+9.8%
富山県	3,759,720	-1.3%	-4.4%
石川県	11,491,880	+24.9%	+31.7%
福井県	4,027,250	-2.8%	+24.1%
山梨県	9,483,960	+4.5%	+19.1%
長野県	20,105,300	+11.4%	+11.9%
岐阜県	8,363,880	+14.5%	+19.3%
静岡県	22,995,880	-1.9%	+5.2%
愛知県	21,323,270	+10.3%	+13.1%

施設所在地	延べ宿泊者数	2019年比	前年比
三重県	8,370,240	-2.7%	+14.1%
滋賀県	4,897,930	-2.4%	+2.1%
京都府	34,210,710	+11.3%	+6.5%
大阪府	57,431,520	+21.1%	+13.3%
兵庫県	16,505,660	+14.5%	+9.1%
奈良県	2,834,450	+4.0%	+7.0%
和歌山県	5,012,290	-5.9%	+8.3%
鳥取県	2,599,290	-10.0%	+16.6%
島根県	3,444,710	-5.4%	+4.2%
岡山県	5,783,680	+2.2%	+4.2%
広島県	12,072,450	+3.8%	+4.3%
山口県	3,785,580	+0.6%	+4.6%
徳島県	2,538,210	-1.2%	+8.5%
香川県	4,746,720	+1.9%	+8.7%
愛媛県	4,372,780	-0.3%	-6.8%
高知県	2,922,020	+0.7%	-22.1%
福岡県	23,950,020	+17.3%	+13.4%
佐賀県	2,344,950	-16.3%	-3.5%
長崎県	7,637,820	+5.4%	+0.6%
熊本県	8,079,590	+5.8%	-3.8%
大分県	8,328,590	+5.4%	+9.2%
宮崎県	3,608,900	-16.5%	+6.9%
鹿児島県	8,378,560	+0.1%	+2.8%
沖縄県	31,275,600	-4.8%	-4.9%

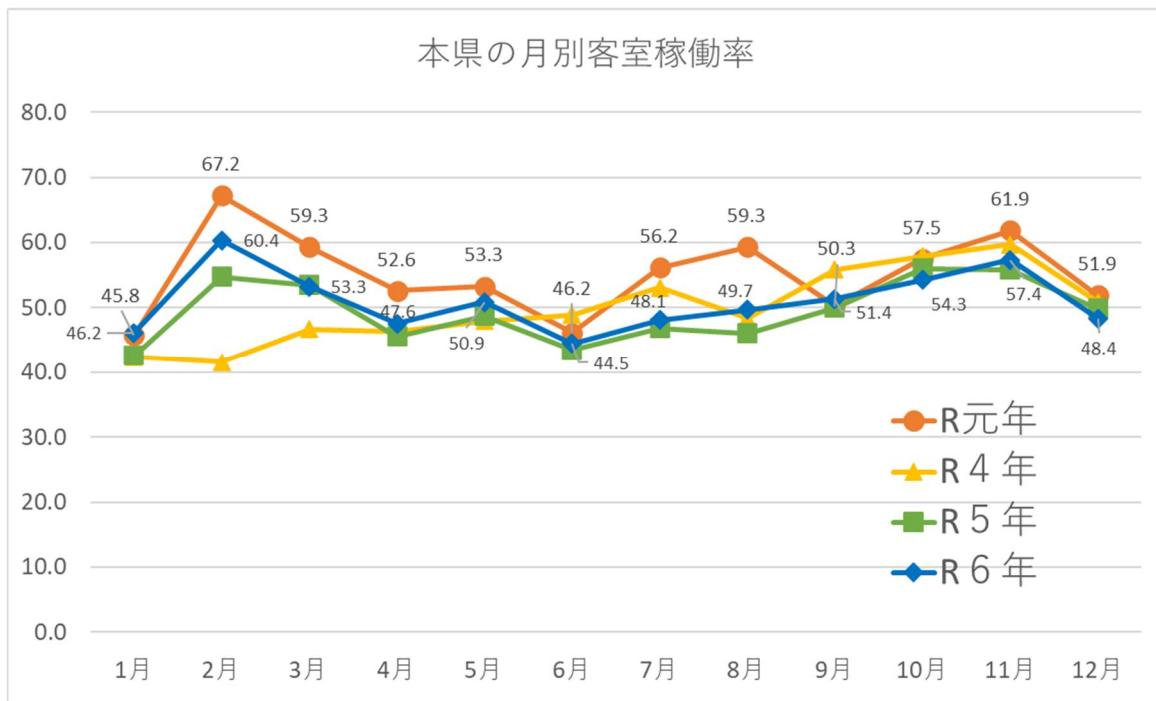
資料:観光庁「宿泊旅行統計調査」

- 本県の月別の宿泊者数を見ると、コロナ禍前に多かった5月、8月、11月の宿泊者が、特に回復が遅れている状況にある。



資料:観光庁「宿泊旅行統計調査」

- 本県の客室稼働率は2月と11月が高い傾向がある。
客室稼働率についても、コロナ禍前と比較して8月が低くなっている。



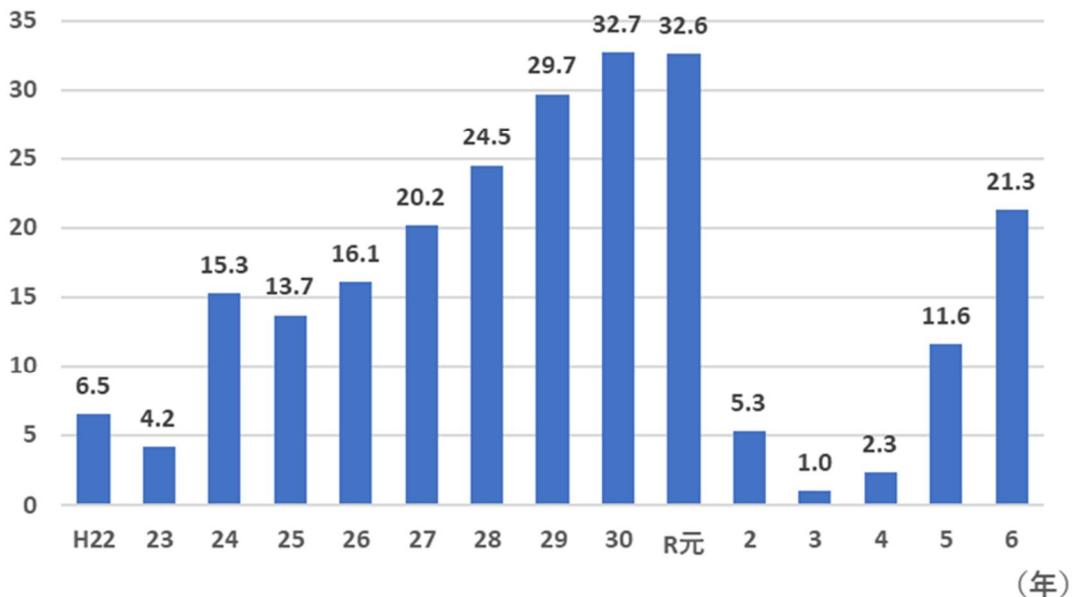
資料:観光庁「宿泊旅行統計調査」

3 外国人延べ宿泊者数

- 外国人の延べ宿泊者数は、コロナ禍以前は30万人泊以上となっていたところ、国際定期便（台北線）の再開の遅れ等の影響もあり、全国と比較すると回復状況に大きく遅れが生じている。

(万人泊)

外国人延べ宿泊者数推移



資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」

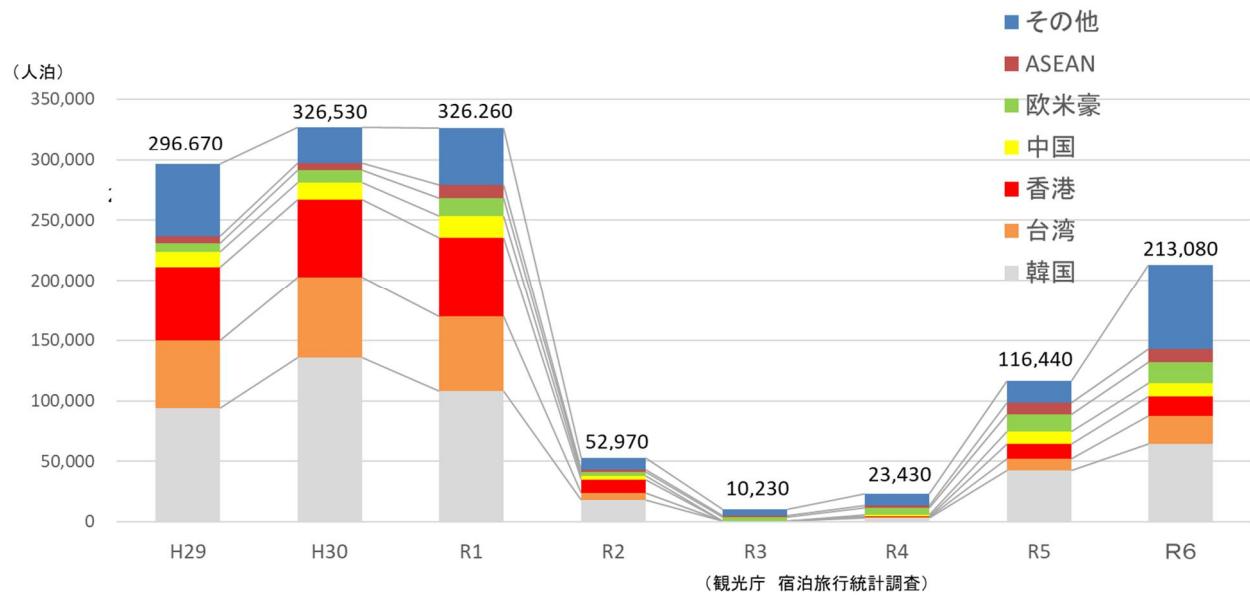
都道府県別外国人延べ宿泊者数（令和6年）

施設所在地	延べ宿泊者数	2019年比	前年比	施設所在地	延べ宿泊者数	2019年比	前年比
全国	164,466,770	+42.2%	+39.7%	三重県	241,130	-38.0%	+19.9%
北海道	10,311,760	+17.1%	+44.6%	滋賀県	336,850	-20.5%	+17.9%
青森県	413,280	+15.9%	+55.8%	京都府	16,938,020	+40.9%	+39.6%
岩手県	386,400	+12.3%	+36.8%	大阪府	25,393,930	+41.7%	+35.4%
宮城県	776,630	+37.9%	+47.7%	兵庫県	1,505,800	+10.2%	+48.2%
秋田県	119,610	-14.2%	+25.1%	奈良県	399,920	-25.3%	+19.6%
山形県	256,130	+9.4%	+43.3%	和歌山県	787,900	+19.7%	+52.3%
福島県	328,230	+52.9%	+54.0%	鳥取県	118,390	-35.9%	+66.4%
茨城県	277,530	+27.7%	+16.6%	島根県	83,710	-19.6%	+57.6%
栃木県	481,390	+35.7%	+10.7%	岡山県	514,000	+5.6%	+55.0%
群馬県	432,480	+47.9%	+36.6%	広島県	1,958,170	+48.1%	+35.6%
埼玉県	227,690	+3.7%	+33.8%	山口県	125,530	+20.3%	+37.3%
千葉県	4,407,820	-8.1%	+36.9%	徳島県	173,660	+30.0%	+30.0%
東京都	56,803,870	+93.5%	+30.2%	香川県	906,740	+17.5%	+103.7%
神奈川県	4,420,400	+36.1%	+37.0%	愛媛県	452,210	+109.1%	+122.8%
新潟県	528,520	+10.0%	+53.1%	高知県	131,730	+38.1%	-5.3%
富山県	250,370	-30.0%	+6.2%	福岡県	7,386,030	+73.3%	+46.6%
石川県	2,199,860	+123.4%	+114.1%	佐賀県	229,300	-36.2%	+46.9%
福井県	92,190	-5.7%	+42.0%	長崎県	643,260	-14.6%	+38.8%
山梨県	2,554,720	+24.3%	+79.5%	熊本県	1,471,730	+57.4%	+47.1%
長野県	2,339,720	+48.3%	+56.7%	大分県	1,568,820	+30.0%	+20.0%
岐阜県	1,928,680	+16.2%	+76.0%	宮崎県	213,080	-34.7%	+83.0%
静岡県	1,885,580	-24.4%	+80.4%	鹿児島県	620,050	-26.2%	+71.5%
愛知県	3,905,130	+7.5%	+94.4%	沖縄県	6,938,830	-10.5%	+55.0%

資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」

- ・ 本県の訪日外国人宿泊者の国籍は、韓国が最も多く、台湾、香港、中国とアジアの割合が高い。

本県の外国人延べ宿泊者数の推移(国・地域別)



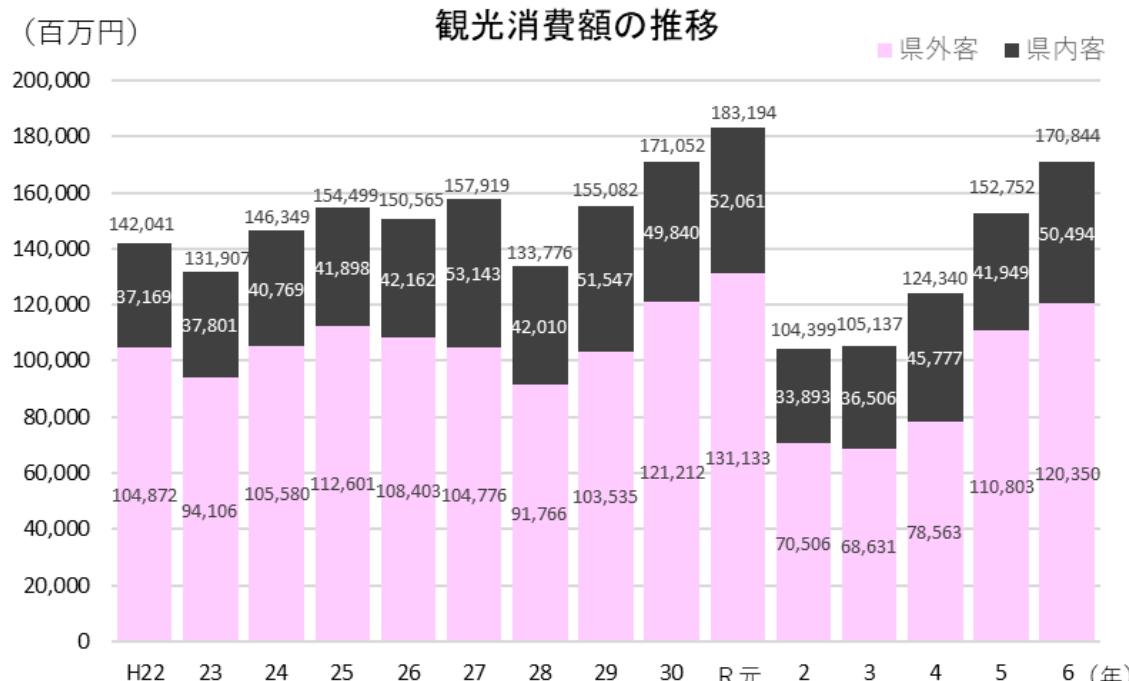
資料:観光庁「宿泊旅行統計調査」

	H29 2017	H30 2018	H31/R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024
全国	79,690,590	94,275,240	115,656,350	20,345,180	4,317,140	16,502,920	117,751,450	164,466,770
宮崎県	296,670	326,530	326,260	52,970	10,230	23,430	116,440	213,080

韓国	93,650	135,910	108,250	17,920	310	3,000	42,520	64,280
台湾	56,190	66,480	61,420	6,160	80	880	9,820	23,270
香港	61,230	64,410	65,920	10,470	50	910	12,300	16,090
中国	12,810	14,350	17,620	3,130	300	1,250	10,270	10,680
欧米豪	7,220	10,030	15,360	3,380	3,020	5,720	13,630	17,650
ASEAN	5,800	5,840	10,830	1,810	1,060	1,940	10,070	11,020
その他	59,770	29,510	46,860	10,100	5,410	9,730	17,830	70,090

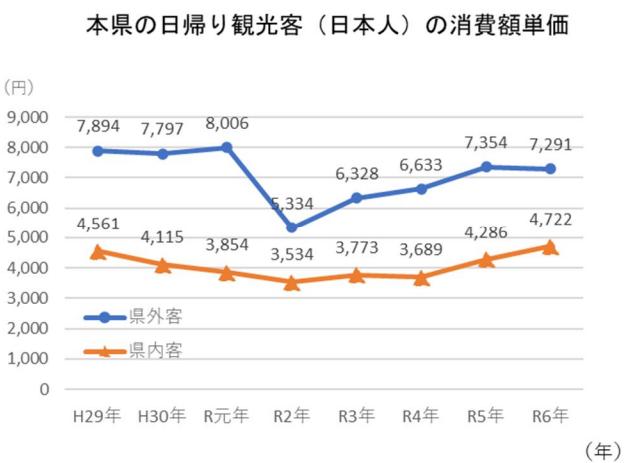
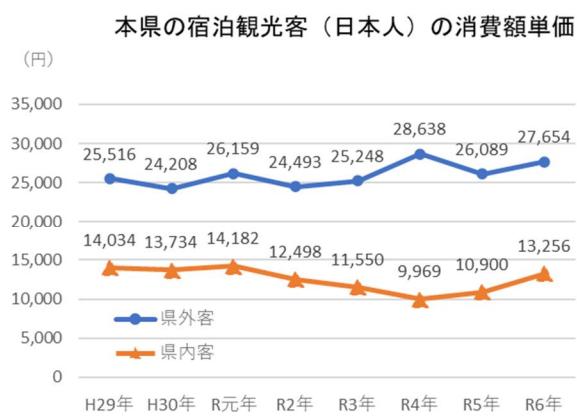
4 観光消費額

- 観光消費額は、令和元年度に1,832億円であったが、令和6年（概算値）では1,708億円と、コロナ禍以前の水準に回復しつつある。



資料：宮崎県観光入込客統計調査

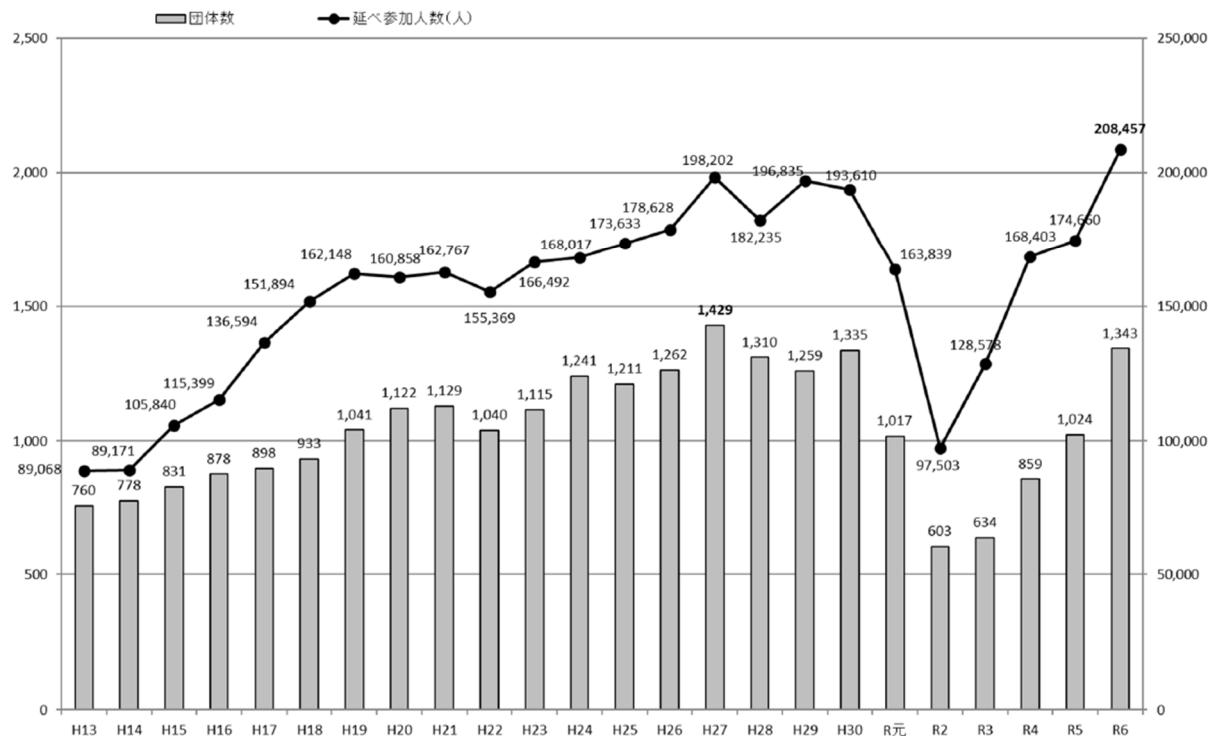
- 本県の宿泊観光客（日本人）の消費額単価について、県外客はコロナ禍前を上回る又は同程度の単価となっているが、県内客はコロナ禍以降、水準が下がっている。
- 本県の日帰り観光客（日本人）の消費額単価については、県外客・県内客ともに回復傾向にある。



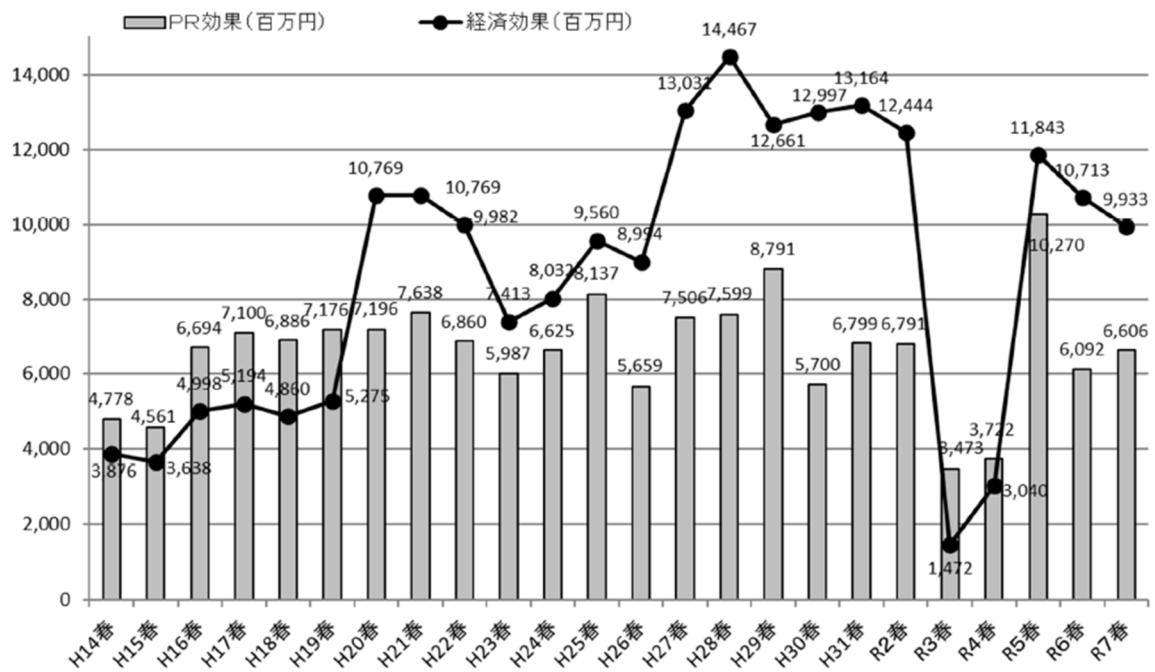
資料：宮崎県観光入込客統計調査

5 スポーツキャンプ・合宿

- ゴールデンウィークや夏休みの時期に学生チームの合宿件数が増加したこと等により、過去最高の延べ参加者数となった。



- 経済効果については、観客数の減少に伴い昨年を下回ったが、高水準を維持している。
- PR効果は、侍ジャパン宮崎キャンプのような大規模な合宿が実施された令和5年春には及ばなかったものの、コロナ以前（令和2年春以前）の水準にまで回復している。

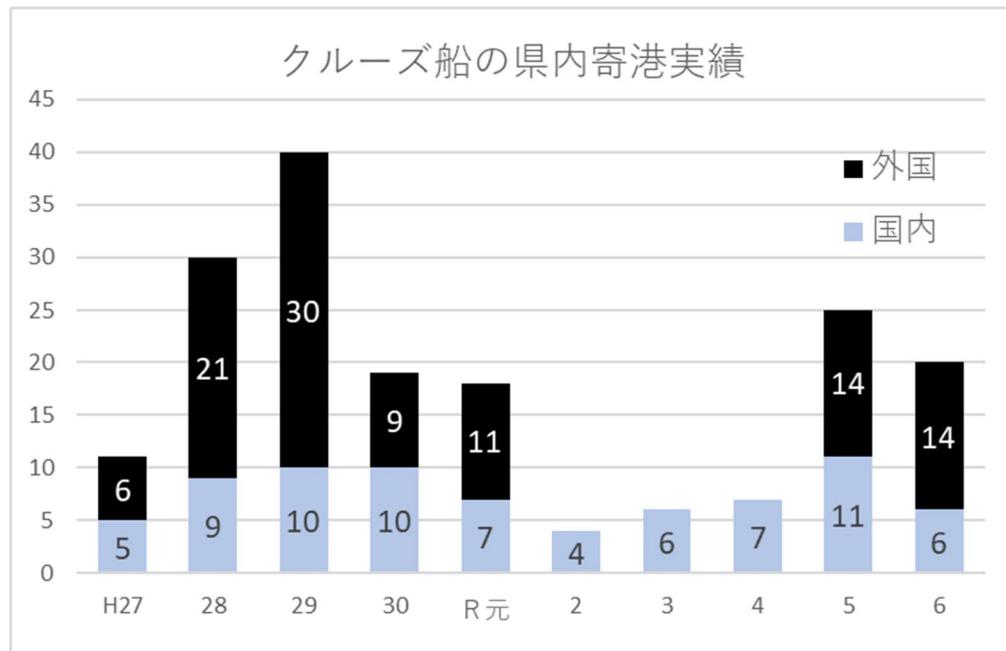


資料:宮崎県スポーツランド推進課調べ

8 クルーズ船

- 海外クルーズ船の受入れが再開し、本県でも令和5年3月から、約3年3ヶ月ぶりに海外クルーズ船の寄港が再開している。

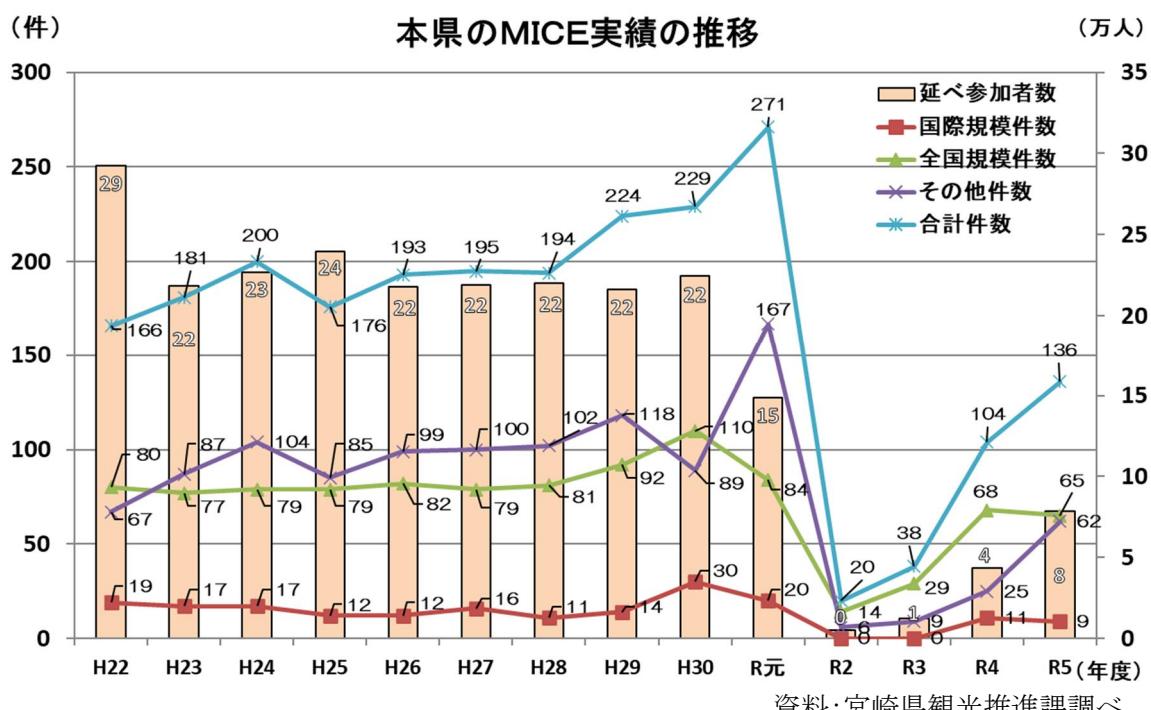
令和5・6年はそれぞれ合計14隻寄港しており、コロナ禍以前の状況に向けて回復しつつある。



資料：宮崎県観光推進課調べ

7 MICE

- 県内におけるMICE開催は、令和5年度は7.9万人と回復傾向にあるが、コロナ禍でオンライン会議が普及したことや、MICEの開催には調整等に時間を要することなどから、回復には一定の時間が必要と考えられる。



資料：宮崎県観光推進課調べ

宮崎県観光振興計画（令和9～12年度）
改定スケジュール（案）

令和7年度

○統計データの収集・分析

2月	<p>◆令和7年度 第2回宮崎県観光審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県観光の現状と課題について ・次期計画改定の進め方等について
----	---

令和8年度

4月 ◆委員改選

4～5月 ○現行計画における取組の検証

5月	<p>◆令和8年度 第1回宮崎県観光審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画改定に係る諮問
----	--

6月 ●県議会商工建設常任委員会への報告（改定について）

7～9月 ○市町村、観光協会等との意見交換会

10月 ○計画骨子案の検討

10月	<p>◆令和8年度 第2回宮崎県観光審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画骨子案について
-----	--

11月 ●県議会商工建設常任委員会への報告（骨子案）

11月～ ○計画素案の検討

2月	<p>◆令和8年度 第3回宮崎県観光審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画素案について
----	---

3月 ●県議会商工建設常任委員会への報告（素案）

○パブリックコメントの実施

令和9年度

4月 ○最終案の検討

5月	<p>◆令和9年度 第1回宮崎県観光審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの結果について ・最終案について
----	---

6月 ●県議会への議案提出